

1 単元のデザイン

単元の目標

地域の防災や町づくりについて地域の人々に発信する活動を通して、地域の人々の防災や町づくりの取組や思いについて理解し、地域の一員として防災や町づくりの視点から何ができるのかを考えるとともに、学んだことを生かし防災や町づくりに積極的に関わることができるようにする。

単元について

本校は、令和5年4月に呉市で初めての義務教育学校「呉市立天応学園」として開校する。現在、開校に向けて様々な準備を進めており、体育館（新校舎）の建設も進められている。本単元は、建設中の体育館や自分たちが天応小学校最後の卒業生であることに焦点をあて、本質的な問い「地域とどのようにつながり、どのように生きるのか」を基に構想し、防災のための安全な町づくりとその取組について探究的な学習を行っていく。

天応地区は、平成30年西日本豪雨災害で甚大な被害を受けた。災害時、現在使用している体育館は避難所として開設された。また、天応中学校の運動場には大量の土砂が流入し、天応小学校に仮移転した。災害以降、地域の人々によるワークショップや天応小・中学校のPTAが行ったアンケートなどを踏まえ、天応小・中学校は、義務教育学校への移行、校舎等の建設計画等がスタートし、現在に至っている（呉市議会による「呉市立天応学園」設置の可決は令和4年6月24日）。

運動場に建設中の体育館には、地域の防災拠点としての機能が備えられており、地域の人々の体育館へ懸ける防災への思いも強い。児童は、体育館の建設による変化の様子を毎日のように目にしている。児童にとって身近な体育館について発信することを学習課題として設定することで、より目的意識をもって学びをつなぎながら探究することができる。建設中の「今だからこそ」の活動として、建設に携わった人々や、地域の人々の防災や町づくりへの思いや体育館に込められた願いに触れ、自分たちにできることを企画・実践させることで、地域の一員として防災や町づくりについて、一人ひとりが自分の考えをもつことができるようにする。

また、児童は天応小学校最後の卒業生となる。そのことから天応小最後の1年に自分たちに何ができるかを考え、企画・実践させることで、学校と地域のつながりや伝統を受け継ぐ意味や価値に気付かせるようにする。

児童について

- ① 1学期の学習で、天応地区自治会連合会の会長さんから天応地区の昔の災害の様子や自治会長の町のづくりへの思いを聞いた。振り返りには、「天応を大切にしてくださっていることが分かった」「天応のことをもっとよく知りたい」「自分ができることを考えていきたい」等の記述が見られた。
- ② 「授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。」の設問において、肯定的に回答した児童の割合は89%であるが、日常の授業において考えを伝えることに消極的な児童もいる。
- ③ デジタル機器の活用については、ロイロノートを中心に活用している。また外国語のスピーチや国語の群読の時間には Google Meet を活用して小グループのスピーチを行ったり、算数の時間ではスプレッドシートを活用してグラフを作成したりしている。

指導の工夫について

- ① 1学期には、児童から問いを生み出すしかけを意識した学習過程となるよう単元を構成した。本単元でも継続して、児童の問いや気付きを大切にしている。そのために、体験的に情報収集ができるよう、体育館建設に携わった方や地域や外部の方等と必然性のある出会いの場を設定する。
- ② 考えの整理ができていない児童には、その段階での考えや分からないことを説明するように指導する。周りの友達が考えを付け加えたり、さらに詳しく説明したりすることで、共感的な雰囲気の中で協働して学習が行えるようにする。
- ③ 思考、対話や表現等の質を高めるために、どの学習過程においてもロイロノートを中心にデジタル機器を活用していく。特に、調べたことや整理することをカードとして保存させることで、根拠を明らかにしながら学習を進めることができるようにする。また、地域の方等の意見を参考にできるように Google Forms を活用する。

2 単元の評価規準

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|---|---|
| 評価規準 | <p>①防災や町づくりには、多くの人の思いが込められていることを理解している。</p> <p>②活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。</p> <p>③防災や町づくりと自分たちとのつながりを理解することは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p> | <p>①防災や町づくりについて発信するに当たり、何をするのか、何のためにするのかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。</p> <p>②課題を解決するために必要な情報を、調査する対象に応じた方法を選びながら収集している。</p> <p>③収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えている。</p> <p>④相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p> | <p>①防災や町づくりに関心をもち、地域の一員として、自分の意思で探究的な学習に取り組もうとしている。</p> <p>②防災や町づくりに関して発信する活動を通して得た知識や、自分と異なる意見や他者の考えを生かしながら、協働的に取り組もうとしている。</p> <p>③防災や町づくりと自分たちの生活との関わりに気付き、地域の一員として取り組もうとしている。</p> |

3 本単元のルーブリック（思考・判断・表現③）

| 観点 | 思考・判断・表現 | | |
|--------|---|---|--|
| 評価規準 | 収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えている。 | | |
| ルーブリック | A | B | C |
| | 収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、多面的に判断し、解決に向けて考えている。 | 収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えることができる。 | 収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えることができない。 |

4 単元の計画 (全55時間)

| 次 | 時数 | 学 習 内 容 | 評 価 規 準 | | | | 他教科との 関連 |
|---------|---|--|---------|---|------------------|------------------|-----------------------|
| | | | 知 | 思 | 主 | 評価方法 | |
| 第一 次 | 2 | <p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの防災の学習をふり返り、6年生として取り組む課題を設定する。 <p>「防災」～今まで、そしてこれからについて考えよう～</p> | | | ① | タブレット、 児童観察 | |
| | 3 | <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を調べながら、「防災集会」や自分たちのできる活動の計画を立てる。 | | ① | | タブレット、 児童観察 | |
| | 3 | <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 役割を決め、どのように整理・分析していけばよいか考えるとともに、「防災集会」の運営をする。 | | ② | | ワークシート、 児童観察 | 国語科 「気持ちよく対話を続けよう」 |
| | 3 | <p>まとめ・表現 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会会長さんの話を伺い、防災や町づくりへの思いを知り、当たり前前に生活している天応の町には、どのようなよさ（ひと・もの・こと）があるのかまとめ、ふり返る。 | ① | | | ワークシート、 タブレット | 道徳科 「ゴミ箱のない公園」 |
| 第二 次 | 2 | <p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館建設前から関わっている校長先生から会長さんの思いや体育館の話を知るとともに、体育館の情報を地域に発信するのに力を貸してほしいと依頼を受ける。 <p>課題 体育館に込められた思いや魅力を地域の人に発信するにはどうすればよいだろうか？</p> | | | ① | ワークシート、 児童観察 | |
| | 3 | <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方に情報を発信するために、体育館のどんなことを調べていけばいいか考え、情報を集める。 | | ② | | タブレット、 児童観察 | 算数科「資料の調べ方」 |
| | 5 | <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を基に、どのような内容をどのような方法で地域の人に発信するか考え、方法ごとにグループを構成し、整理する。 (例：ポスター、情報誌、リーフレット、動画、HP等) | | | ② | 制作物、児童 観察 | 国語科「話し合って考えを深めよう」 |
| | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 情報を関連付けたり整理したりしながら、ふさわしい内容になるようまとめている。【本時】 | | ③ | | タブレット、 児童観察 | |
| | 2 | <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信する内容と方法について、外部の方に報告し、アドバイスをもらう。(例：呉市秘書広報課、まちづくりセンター長等) | | | ② | ワークシート、 児童観察 | |
| 4 | <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 助言を受けて修正したことを基に改善する。 | | ② | | 制作物、児童 観察 | | |
| 2 | <p>まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携・調整をして情報を発信する。 | | | ④ | 児童観察、ワ ークシート | | |
| 3 | <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信した情報について反応を聞き、次の単元の学びに生かす。(例：まちづくりセンターに設置するアンケート用紙、Google Forms 等) | | ③ | | アンケート、 ワークシート | | |

| | | | | | |
|-----|---|---|--------------|--------------|-----------------------|
| 第三次 | 2 | 課題の設定 ・天応小最後の卒業生として、どのような活動ができるか考え、企画する。 | ① | ワークシート, 児童観察 | 国語科「町の幸福論」 |
| | 課題 「つながろう天応」まちづくりに参画しよう！！ | | | | |
| | 6 | 情報の収集 ・実行したい内容について情報を収集する。 | ② | ワークシート, 児童観察 | |
| | 5 | 整理・分析 ・収集した情報を基に、どのような内容をどのような方法で発信するか考え、整理する。 ・関係者や関係機関と連携し、ふさわしい内容になるようまとめていく。(例：校長先生、まちづくりセンター長等) | ③ | タブレット, 児童観察 | 国語科「情報を活用するときに気をつけよう」 |
| 2 | まとめ・表現 振り返り ・関係機関と連携・調整をして情報を発信する。 | ④ | ワークシート, 児童観察 | | |

5 本時の展開 (本時 22/55)

(1) 本時の目標

自分たちが考えた発信したい企画 (内容及び方法) について、より伝わりやすいようにするためのアドバイスを整理・分析することを通して、自分たちの企画のよさや改善点を見付けることができる。

(2) 本時の展開

| | 学習活動 | ◇指導上の留意点 ◆T2による児童生徒への手立て | ◎ 評価規準 (評価方法) |
|----------|---|--|---|
| つかむ | 課題の設定 1 本時のめあてを確認する。 | ◇ 単元のゴールや前時までの学習を振り返るとともに、自分たちが発信したいことを相手により伝わるようにするために話し合う時間であることを確認する。 | |
| | (めあて) 自分たちの伝えたいことがより伝わるよう改善点を見付けよう～もっとよくするために～ | | |
| | 情報の収集 2 互いのグループの説明について助言する (ワールドカフェ方式)。 | ◇ グループの取組について説明する役割と他のグループの説明を聞いてアドバイスする役割を交替で担当させることで、全員が内容や表現方法等の改善の視点をもって整理・分析に臨めるようにする。 ◇ 説明をする児童には、初めに伝えたいことや困っていることを述べるようにさせることで、明確な助言を受けることができるようにする。 ◆ 時間内に話すことが無くなった場合には、他のグループとの共通点や相違点について話すよう助言する。 | |
| 確かめる・深める | 整理・分析 3 助言を基に、自分たちの企画をどう改善するかグループで話し合う。 | ◇ 視覚的に整理しやすいよう、付箋やタブレットを用いて発表内容を交流させる。 ◇ 今後の改善の視点が明確になるよう、思考ツールを用いて分析させる。 ◆ 困り感のあるグループには、本時のねらいに立ち返らせ、発信する方法と内容について改めて確認させ、どのように整理すればよいか助言する。 | |
| 振り返る | まとめ・表現 4 本時のまとめを発表する。 | ◇ 共通点や相違点をキーワードとして板書する。 ◆ 本時で見られた他の児童の参考となる言動を紹介することで、次への学びに生かせるようにする。 | |
| | (まとめ) ・自分たちのグループは〇〇に困っていたけど、△△のアドバイスをもらって□□の改善点が見付かった。 ・共通するキーワードと内容に関連させる工夫について具体が見えてきた。 | | |
| | 振り返り 5 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 | ◇ 探究の過程における自分たちの学びを客観的に振り返ることができるよう、ロイロノートの共有ノートを用いて振り返らせる。 ◇ 改善点を参考に、情報を整理し、よりよいものに仕上げようとしている事例を紹介することで、次時の学習につなげる。 | ◎ 収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えている。(児童観察, タブレット) 思 ③ |
| | (振り返りの例) ・次の時間は、だれもが分かりやすくなるよう、新たな視点で情報収集したい。 ・インタビューや自分の体験などの事実を入れていきたい。 | | |

6 本時の板書計画

地域の人に伝える！！
体育館に込められた思いと魅力

め
あ
て

自分たちの伝えたいことがより伝わるよう改善点を見付けよう

発信方法

- ・ポスター
- ・リーフレット
- ・チラシ (回覧板)
- ・動画

発信内容で共通確認したこと

学習の流れ

まとめ

※児童の発言から共通点や相違点などをキーワードとして記述していく。